

世間話・町内会・PTA
わんわんパトロール

さくら体操
通いの場

スマホちょこっと
相談室

お茶のんで、世間話をし、愚痴
を言い合える関係づくり

環境整備 生活支援コーディネーター

- ・気軽に歩いて行ける場所にある活動先
- ・多様な関心に対応できる複数の活動先
- ・対象となる人々への情報提供

応援ブック・
応援マップ

お元気サミット
地域デビュー講演会

地域デビューガイド
地域デビューガイド作成のための検討会義（庁内連携）

各種養成講座

居場所づくり講座
ファシリテーター養成講座
（社協）

お互いさまからつながる
地域づくり
～住民主体のいきがいのある
まちをつくろう～

課題

- ・活動者の高齢化や
- ・地域のつながりの希薄化による活動の縮小
- ・一定数の高齢者の孤立

検討すること

- ①きっかけさえあれば活動に参加する人たちにどのように働きかけるか？
（成功要因：お元気サミット、地域デビュー講演会、防災活動など）
- ②どうサポートすれば現在の活動を継続していけるのか？
（成功要因：活動先同士の連携、複数者での運営、会計事務補助、会場の確保など）
- ③どうすれば活動の主体となる人材を発掘・育成できるのか？
（成功要因：退職直後の働きかけ、養成講座からのつながりなど）

個別対応 包括支援センター・ケアマネ・民生委員

- ・孤立状態に至る人はどこにいるのか
- ・どのようにアウトリーチすればよいのか
- ・リーチ後、つながりをつくっていくためにはどうすればよいのか

孤立

意欲低下

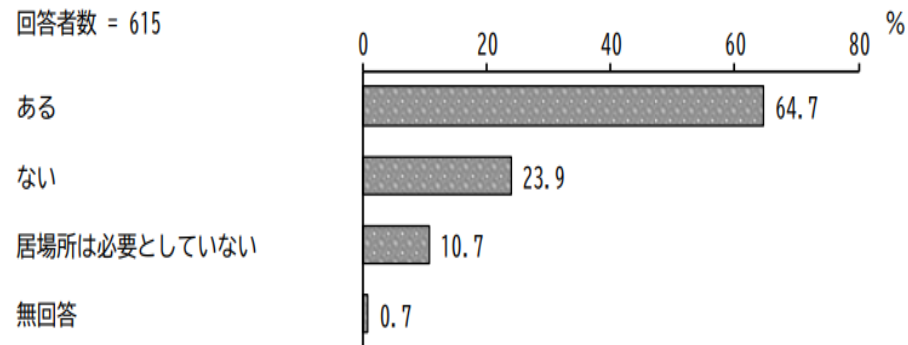
つながり
がない

参考資料：第9期小金井市介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画策定に関する調査

B.「地域」との関わりについて

問4 あなたにとって、自宅以外に気軽に行ける「居場所」はありますか。(1つに○)

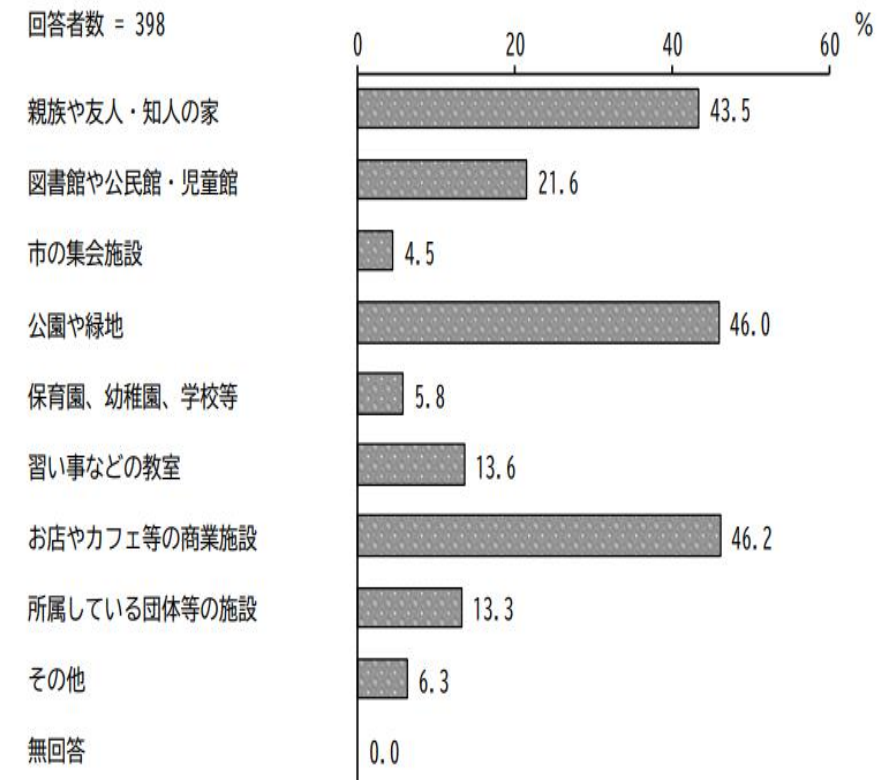
「ある」の割合が64.7%と最も高く、次いで「ない」の割合が23.9%、「居場所は必要としていない」の割合が10.7%となっています。



問4で「1. ある」を選んだ人におたずねします。

問4-1 それはどのような場所・施設ですか。(3つまで○)

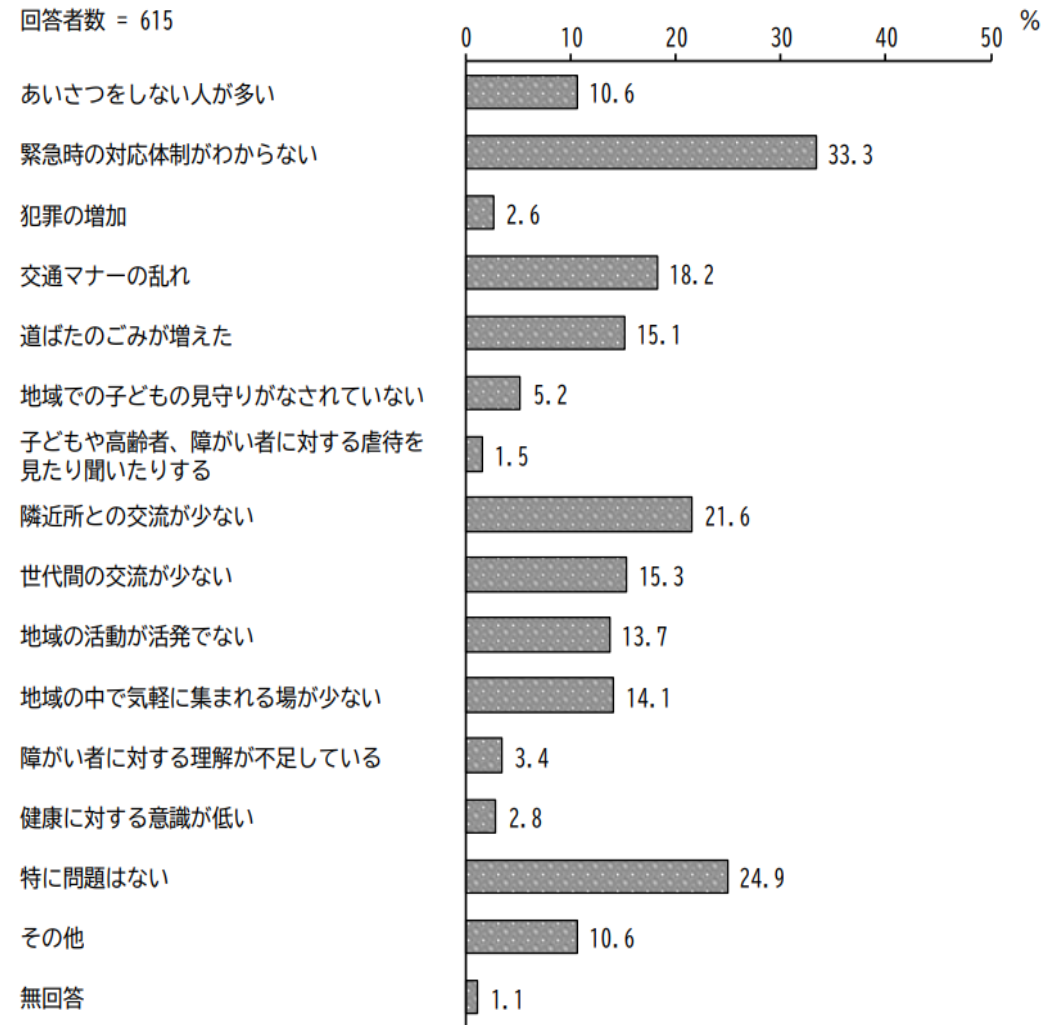
「お店やカフェ等の商業施設」の割合が46.2%と最も高く、次いで「公園や緑地」の割合が46.0%、「親族や友人・知人の家」の割合が43.5%となっています。



問6 現在、あなたの住んでいる地域の中での問題点・不足していると思うものは何ですか。(いくつでも○)

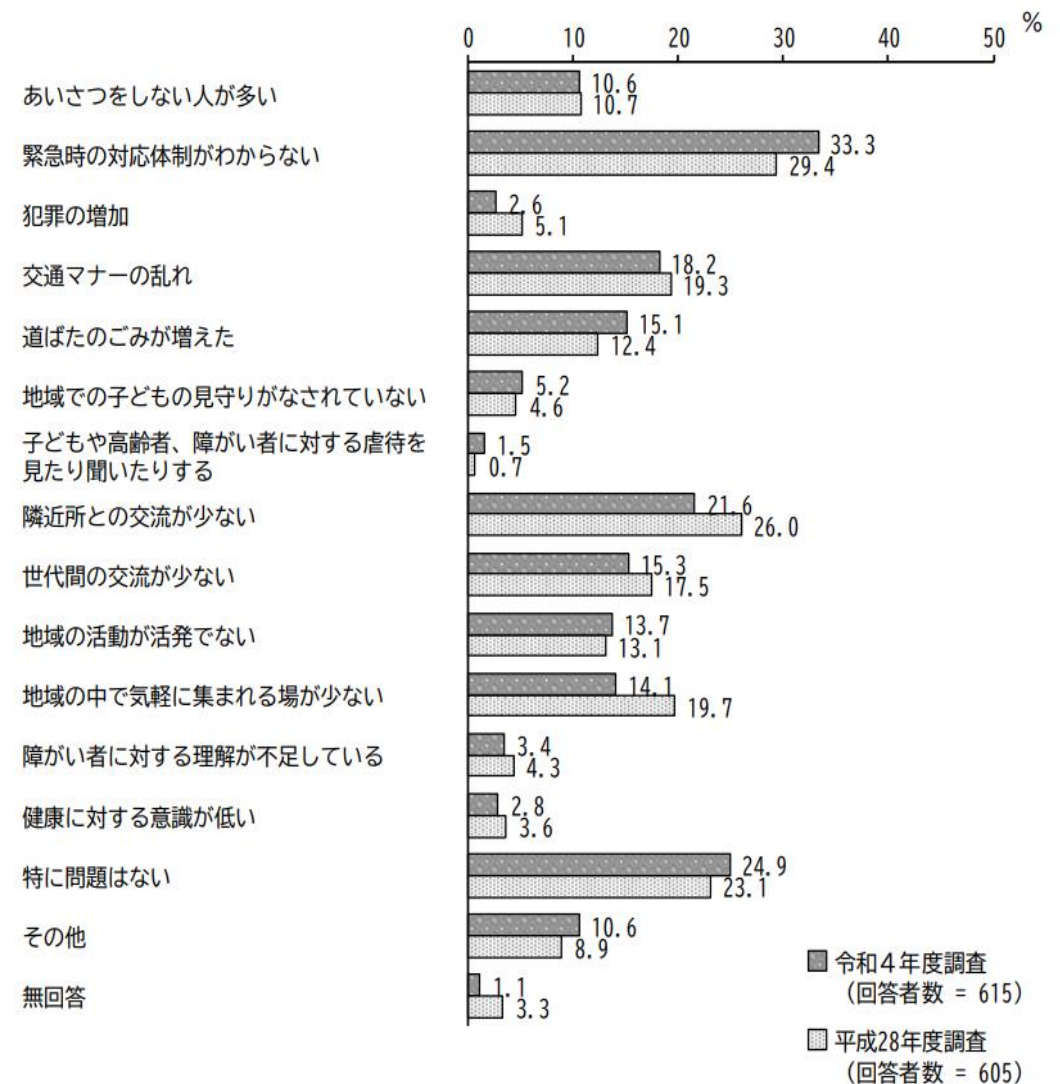
「緊急時の対応体制がわからない」の割合が33.3%と最も高く、次いで「特に問題はない」の割合が24.9%、「隣近所との交流が少ない」の割合が21.6%となっています。

回答者数 = 615



【経年比較】

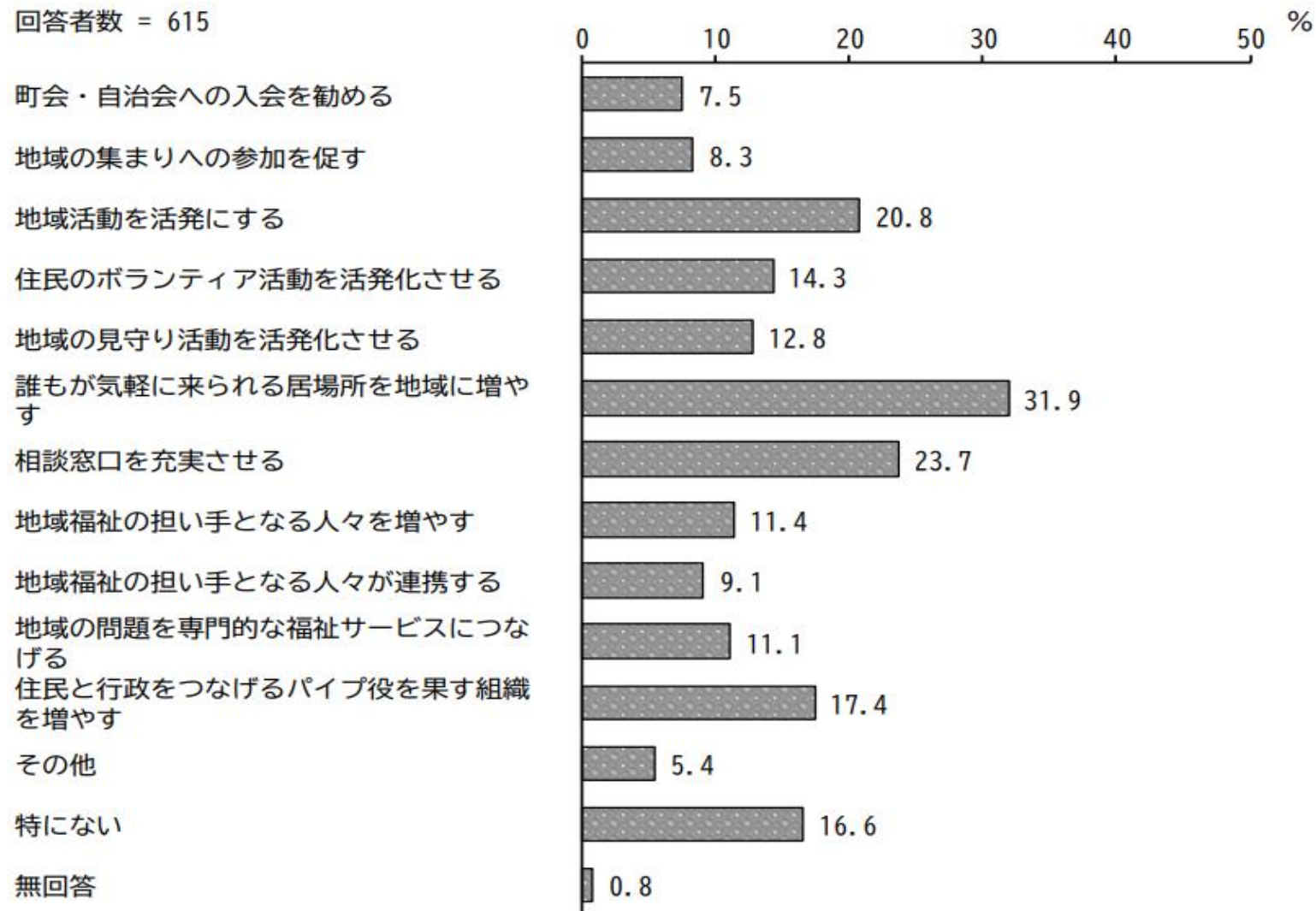
平成28年度調査と比較すると、「地域の中で気軽に集まれる場が少ない」の割合が減少しています。



問8 地域の課題を解決するために、どのような方策が必要だと思いますか。（3つまで
○）

「誰もが気軽に来られる居場所を地域に増やす」の割合が31.9%と最も高く、次いで「相談窓口を充実させる」の割合が23.7%、「地域活動を活発にする」の割合が20.8%となっています。

回答者数 = 615



【性・年代別】

性・年代別にみると、他に比べ、女性-50～64 歳で「相談窓口を充実させる」の割合が、男性-50～64 歳で「住民のボランティア活動を活発化させる」の割合が、男性-18～29 歳で「住民と行政をつなげるパイプ役を果す組織を増やす」の割合が高くなっています。

単位：％

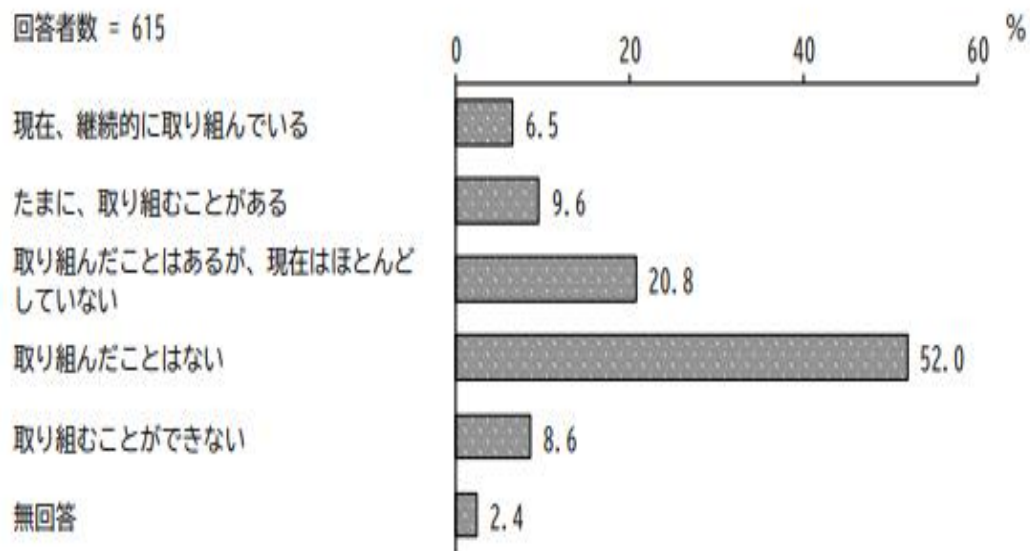
区分	回答者数（件）	町会・自治会への入会を勧める	地域の集まりへの参加を促す	地域活動を活発にする	住民のボランティア活動を活発化させる	地域の見守り活動を活発化させる	誰もが気軽に来られる居場所を地域に増やす	相談窓口を充実させる	地域福祉の担い手となる人々を増やす	地域福祉の担い手となる人々が連携する	地域の問題を専門的な福祉サービスにつなげる	住民と行政をつなげるパイプ役を果す組織を増やす	その他	特にない	無回答
全 体	615	7.5	8.3	20.8	14.3	12.8	31.9	23.7	11.4	9.1	11.1	17.4	5.4	16.6	0.8
男性-18～29 歳	25	8.0	12.0	20.0	8.0	12.0	24.0	20.0	—	4.0	8.0	24.0	—	24.0	—
男性-30～49 歳	90	4.4	1.1	22.2	11.1	10.0	31.1	24.4	14.4	7.8	12.2	21.1	6.7	20.0	—
男性-50～64 歳	70	8.6	7.1	24.3	21.4	10.0	31.4	17.1	10.0	8.6	5.7	17.1	2.9	17.1	—
男性-65 歳以上	78	14.1	14.1	21.8	15.4	12.8	26.9	20.5	12.8	9.0	7.7	17.9	2.6	16.7	1.3
女性-18～29 歳	28	—	3.6	17.9	3.6	7.1	32.1	25.0	3.6	10.7	10.7	10.7	14.3	21.4	—
女性-30～49 歳	132	0.8	7.6	24.2	9.8	14.4	33.3	21.2	8.3	10.6	11.4	12.1	12.1	15.2	0.8
女性-50～64 歳	99	3.0	8.1	16.2	20.2	16.2	37.4	32.3	13.1	12.1	13.1	19.2	2.0	15.2	1.0
女性-65 歳以上	88	20.5	11.4	15.9	14.8	13.6	31.8	27.3	17.0	6.8	15.9	20.5	1.1	11.4	2.3

C. 地域活動やボランティア活動などについて

問9 あなたは、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等について、取り組んだことはありますか。(1つに○)

「取り組んだことはない」の割合が52.0%と最も高く、次いで「取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない」の割合が20.8%となっています。

回答者数 = 615



【性・年代別】

性・年代別にみると、他に比べ、男性-18～29歳で「取り組んだことはない」の割合が、男性-30～49歳で「取り組んだことはない」の割合が、女性-18～29歳で「取り組んだことはない」の割合が高くなっています。

単位：%

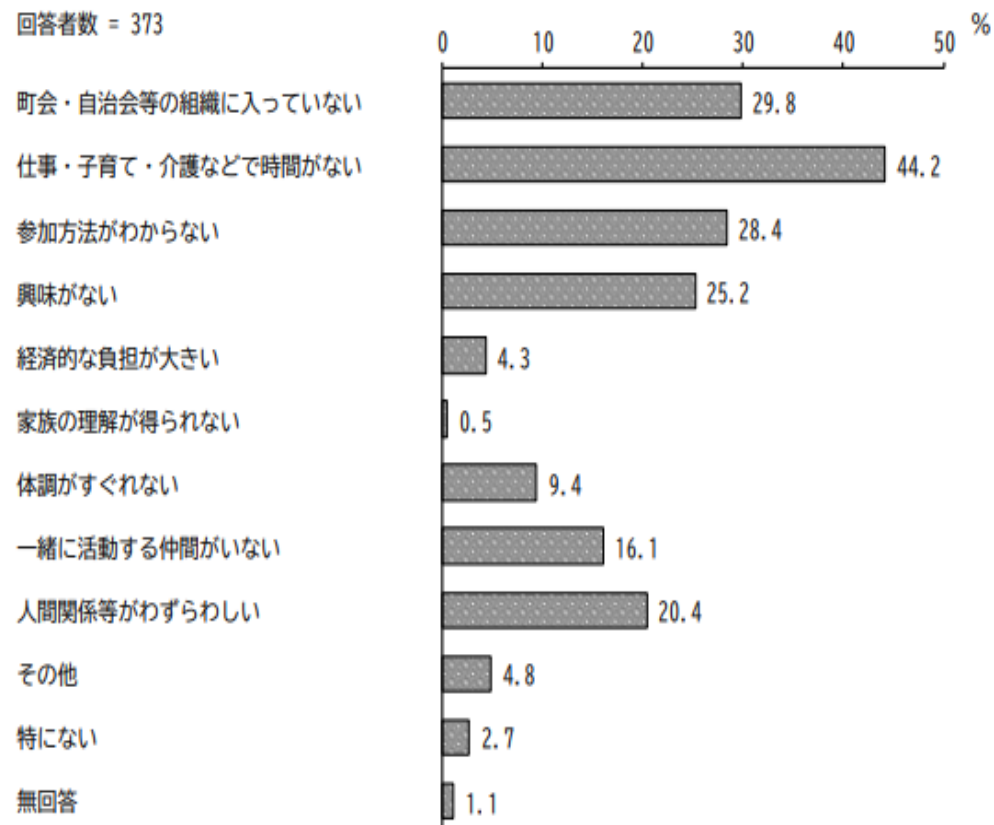
区分	回答者数(件)	現在、継続的に取り組んでいる	たまに、取り組むことがある	取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない	取り組んだことはない	取り組むことができない	無回答
全 体	615	6.5	9.6	20.8	52.0	8.6	2.4
男性-18～29歳	25	4.0	4.0	16.0	68.0	8.0	—
男性-30～49歳	90	2.2	7.8	11.1	67.8	10.0	1.1
男性-50～64歳	70	2.9	8.6	15.7	62.9	10.0	—
男性-65歳以上	78	10.3	5.1	19.2	59.0	2.6	3.8
女性-18～29歳	28	—	3.6	17.9	64.3	14.3	—
女性-30～49歳	132	6.1	11.4	17.4	55.3	9.1	0.8
女性-50～64歳	99	5.1	18.2	31.3	35.4	8.1	2.0
女性-65歳以上	88	14.8	6.8	33.0	26.1	10.2	9.1

問9で「取り組んだことはない」「取り組むことができない」を選んだ人におたずねします。

問9- 2 活動していない理由は何ですか。(いくつでも○)

「仕事・子育て・介護などで時間がない」の割合が44.2%と最も高く、次いで「町会・自治会等の組織に入っていない」の割合が29.8%、「参加方法がわからない」の割合が28.4%となっています。

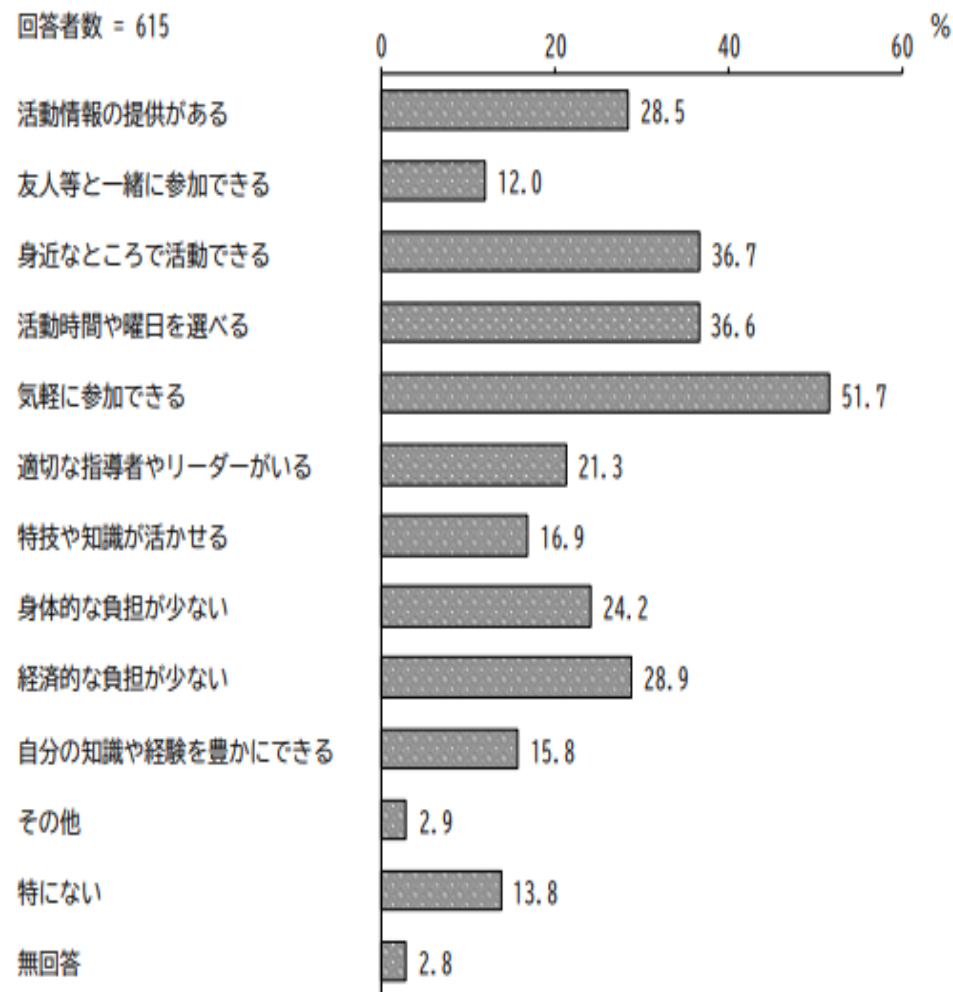
回答者数 = 373



問10 どのような条件であれば、活動・参加したいと思いますか。(いくつでも○)

「気軽に参加できる」の割合が51.7%と最も高く、次いで「身近なところで活動できる」の割合が36.7%、「活動時間や曜日を選べる」の割合が36.6%となっています。

回答者数 = 615



【性・年代別】

性・年代別にみると、他に比べ、男性-18～29 歳で「友人等と一緒に参加できる」の割合が、女性-30～49 歳で「活動時間や曜日を選べる」の割合が、女性-50～64 歳で「活動時間や曜日を選べる」の割合が高くなっています。

単位：％

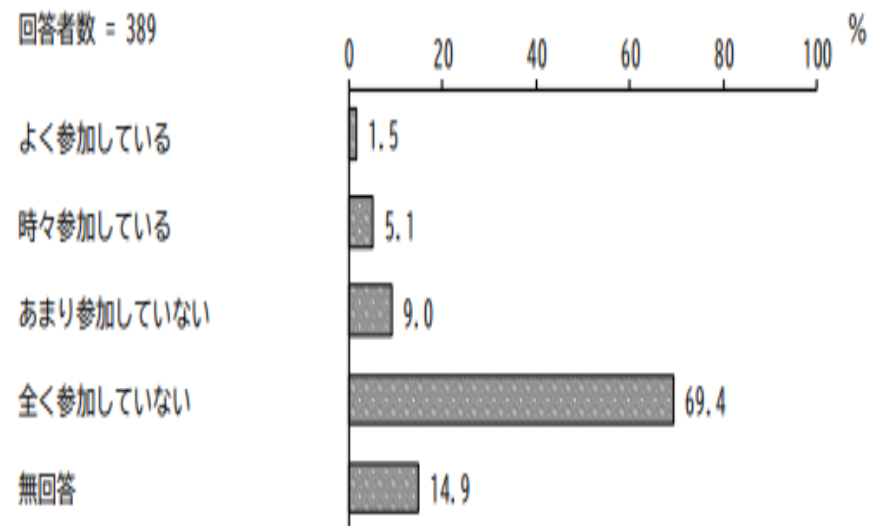
区分	回答者数 (件)	活動情報の提供がある	友人等と一緒に参加できる	身近なところで活動できる	活動時間や曜日を選べる	気軽に参加できる	適切な指導者やリーダーがいる	特技や知識が活かせる	身体的な負担が少ない	経済的な負担が少ない	自分の知識や経験を豊かにできる	その他	特にない	無回答
全 体	615	28.5	12.0	36.7	36.6	51.7	21.3	16.9	24.2	28.9	15.8	2.9	13.8	2.8
男性-18～29 歳	25	16.0	32.0	24.0	28.0	56.0	12.0	20.0	16.0	32.0	20.0	4.0	12.0	—
男性-30～49 歳	90	31.1	11.1	32.2	32.2	54.4	17.8	22.2	23.3	38.9	22.2	3.3	15.6	1.1
男性-50～64 歳	70	31.4	2.9	35.7	37.1	42.9	17.1	17.1	14.3	18.6	18.6	—	20.0	2.9
男性-65 歳以上	78	26.9	5.1	38.5	29.5	42.3	21.8	17.9	15.4	17.9	14.1	2.6	19.2	2.6
女性-18～29 歳	28	21.4	17.9	21.4	21.4	42.9	14.3	14.3	28.6	32.1	17.9	3.6	21.4	—
女性-30～49 歳	132	35.6	18.9	43.9	47.7	60.6	23.5	16.7	31.1	34.1	16.7	1.5	9.8	1.5
女性-50～64 歳	99	29.3	9.1	40.4	47.5	59.6	27.3	18.2	26.3	34.3	9.1	4.0	7.1	2.0
女性-65 歳以上	88	18.2	10.2	35.2	25.0	43.2	20.5	9.1	29.5	20.5	10.2	5.7	13.6	9.1

7. 地域生活について

問13 あなたは、地域活動やボランティア活動、お住まいの地域の行事にどの程度参加していますか。(1つに○)

「全く参加していない」の割合が69.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 389



【幸福度別】

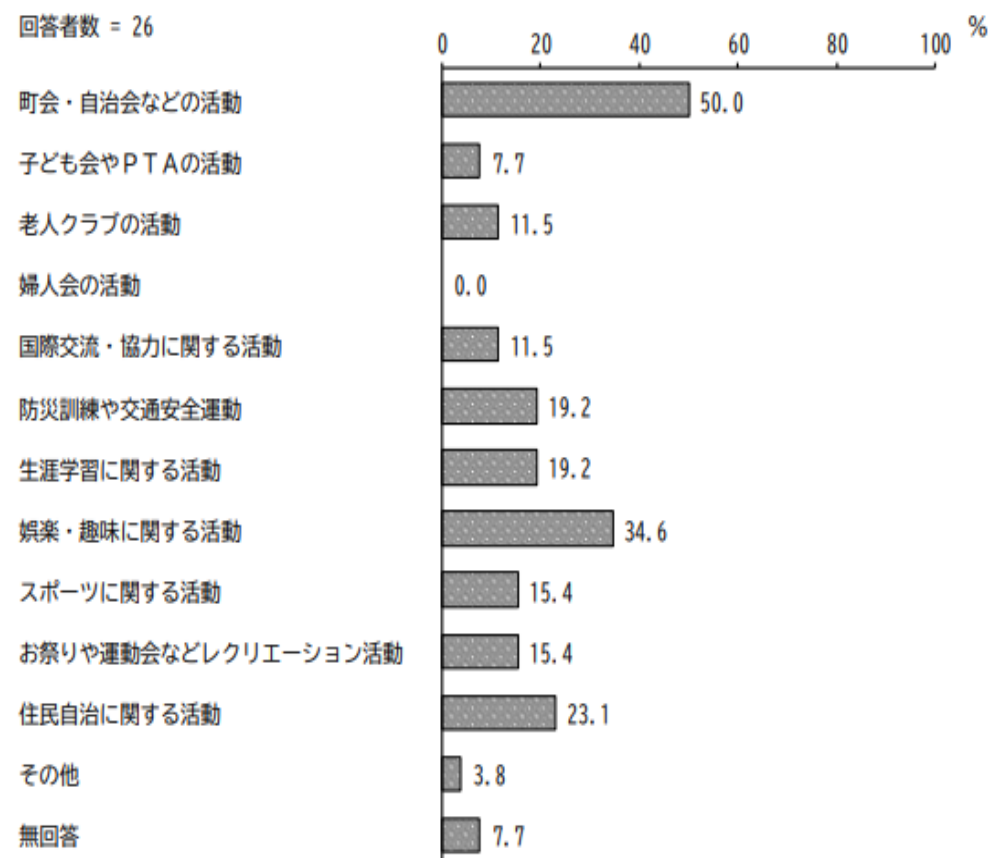
幸福度別にみると、幸福度の点数が低くなるにつれ「全く参加していない」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：%

区分	回答者数 (件)	よく 参加 している	時々 参加 している	あまり 参加 して いない	全く 参加 して いない	無 回 答
全 体	389	1.5	5.1	9.0	69.4	14.9
0～3点	32	—	—	3.1	84.4	12.5
4～6点	91	1.1	7.7	9.9	70.3	11.0
7～10点	205	2.0	5.9	11.7	68.3	12.2

問 13-1 問 13 で「よく参加している」または「時々参加している」と答えた方におたずねします。
どのような活動や行事に参加していますか。(いくつでも○)

「町会・自治会などの活動」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「娯楽・趣味に関する活動」の割合が 34.6%、「住民自治に関する活動」の割合が 23.1%となっています。



問 14 あなたが今後、お住まいの地域で活動する場合、どのような活動に参加したいと思いますか。(いくつでも○)

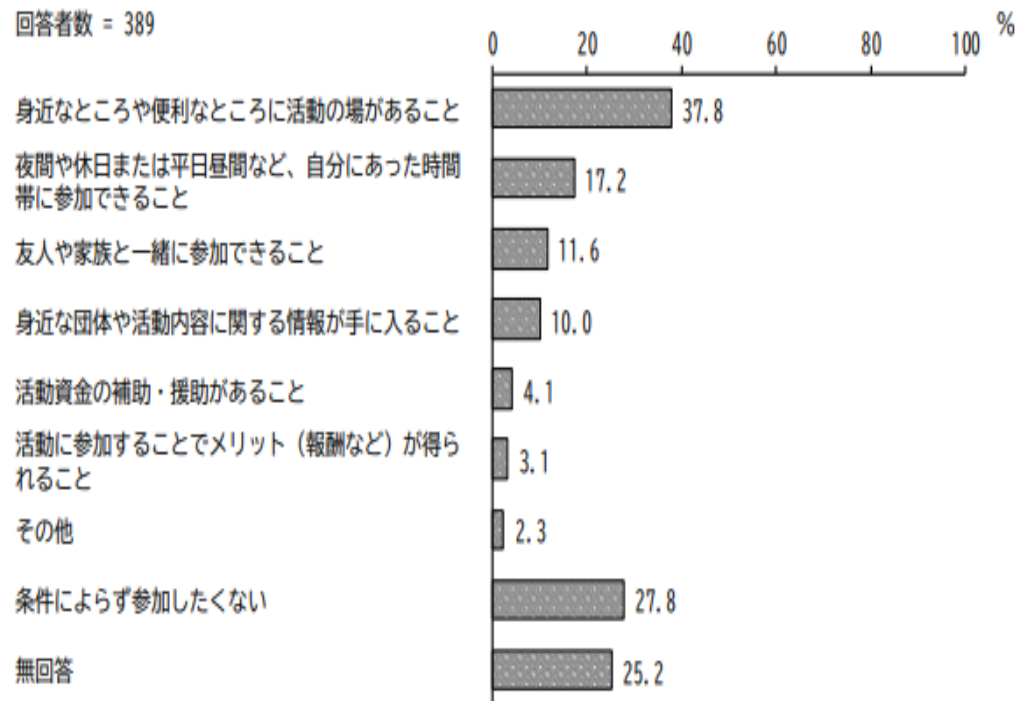
「特にない」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「自分の楽しみが得られる活動」の割合が 25.4%、「生きがいや健康づくりができる活動」の割合が 19.8%となっています。



問15 あなたは、お住まいの地域で活動する場合、どのような環境や条件が必要だと思いますか。(3つまで○)

「身近なところや便利なところに活動の場があること」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「条件によらず参加したくない」の割合が 27.8%、「夜間や休日または平日昼間など、自分にあった時間帯に参加できること」の割合が 17.2%となっています。

回答者数 = 389



【幸福度別】

幸福度別にみると、幸福度の点数が高くなるにつれ「身近なところや便利なところに活動の場があること」「身近な団体や活動内容に関する情報が手に入る事」の割合が高くなる傾向がみられます。また、点数が低くなるにつれ「条件によらず参加したくない」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：%

区分	回答者数(件)	身近なところや便利なところに活動の場があること	夜間や休日または平日昼間など、自分にあった時間帯に参加できること	友人や家族と一緒に参加できること	身近な団体や活動内容に関する情報が手に入る事	活動資金の補助・援助があること	活動に参加することでメリット(報酬など)が得られること	その他	条件によらず参加したくない	無回答
全 体	389	37.8	17.2	11.6	10.0	4.1	3.1	2.3	27.8	25.2
0～3点	32	34.4	15.6	15.6	9.4	3.1	—	—	37.5	21.9
4～6点	91	39.6	19.8	9.9	9.9	7.7	1.1	2.2	31.9	17.6
7～10点	205	42.9	19.0	13.2	12.2	3.9	4.9	2.4	25.9	21.5

あなたにとっての居場所とは？

自宅

リビングのソファ

ダイニングチェア

公園のベンチ

馴染みの喫茶店

自治体が取り組む「通いの場」

健康体操、介護予防体操

住民全てが運動に関心があるわけではない

住民の多様な興味・関心に沿った活動や交流の場や安らぎや楽しみを感じる、自己実現できるような居場所が重要

居場所の全てに人のつながりを求める必要はない。

一人であっても、安らぎを感じることができる居場所は、個人にとって必要な時間と場所

人とのつながりで忘れてはいけないことは、同世代同士のつながりだけではなく、多世代とのつながりも重要である

居場所に求めるもの

友人・知人や社会とのつながり・交流、心身の健康の維持・向上、安らぎ・安心、自分らしくいられることを高く期待

担い手探しに奔走

自分らしい暮らしを最後まで続けることができる地域をつくるは、行政職員や専門職等の役割か？

当事者である、高齢者が自ら主体的につくりあげていくべきものであり、そうしたほうが、より良い地域がつくれるのではないか？

大切なのは

自身の興味関心を実現していくこと

「やってみたい」を実現すること